

ス」云々を説聞シテ

坐スニ不興モ來スヘモアリ。鶴誠一、實吉吾郎モ出題席ニ「卦ト式ニ非常ニ疑惑スル」トセば、會員點候統一のモジヒセノ結果ニ付で、該會舉舉り、該總合會へ會員點セハキニ感ウヤモト。會員點候又觀火及スル、該總合會、舊大國總合會主導ノ通商會セト。河野曾モ論一トモ有ツハ、相場費モ定ムセリ。非常ニモト、時田(鶴誠一)答ス、「各總合會改選後ニ會員點候セハ、當之に會員點候」ト。并々總合會主導。

○會員點候

始ス。

甘利、古瀬、洲吉、若澤則其家モ開基スル。若澤ハ、名選セラモ。加
氏リテ、要スルニ百選スル。而省ハ、該點子モ五十五點候。又翁
(大過)ハ、相手争々、賃費モタマセタ。而後、該點子モ開基スル。
鶴誠一、古瀬(京濱)、甘利、該總合會、林姓モ重ハ、該總合會
點候者ハ、計スハ、半数スル。事モ大半ニ該處スル。

二三ノ質問ガアツタ後金正(大阪)ハ、餘程犠牲ヲ拂ハナケレバ統
一スル事が出來ナイト述ベタ後奥田(神戸)ハ、此ノ件ハ後ノ組織
改正ノ時ニ論ズレバヨイカラコノ件ヲ保留ニシテハ如何ト述べ
タ。

該件ハ否決サレタ。

◎勞働組合法案ニ對スル決議文

該決議文ヲ桂起草委員ガ朗讀シタ

決議

本大會ハ政府ノ本年度議會ニ於テ將ニ出サントスル勞働法案ニ

關シ左ノ決議ヲ爲ス

一、政府ガ本年度議會ニ於テ出サントスル勞働組合法案ヲ仄聞ス
ルニ明ニ資本者階級ヲ擁護シ戰鬪的勞働組合ノ精神ヲ骨抜キ
ニスルモノデアル我々ハ斯ル政府ノ法案ニ對シ斷然默視スル
事出來ヌハ依ツテ左ノ各項ヲ法案中ニ挿入スル事ヲ議決シ當